報道発表資料

2013 年 11 月 11 日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、主力製品「ASTERIA」の導入社数が 4,000 社を突破

～ クラウドやビッグデータに対応した大規模システム構築に貢献 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、EAI/ESB(※1)製品の国内市場において 7 年連続シェア No.1(※2)製品であるデータ連携ミドルウェア「ASTERIA (アステリア)」の導入社数が累計 4,000 社（2013 年 10 月末現在）を超えたことを発表します。

ASTERIA は、異種複数のコンピューターシステムのデータを、プログラミングなしで相互連携できるデータ連携ミドルウェアです。本製品は、EAI/ESB 製品の国内市場において 47.1%のシェアを獲得※2 しており、企業向けデータ連携ミドルウェアのデファクトスタンダードとなっています。

最近の ASTERIA 導入事例では、企業内の情報システムとクラウドサービスの連携（ハイブリッドクラウド）を目的として導入されるケースや、企業の資産である『データ』を保全し、可用性・柔軟性を高める連携基盤として導入されるケースが増加です。
また、2013 年 1 月から最新バージョン ASTERIA WARP4.7 の提供を開始し、大規模システムや大容量データの取扱いを強化するとともに、最新のクラウド、ビッグデータなどの技術にもいち早く対応しました。

2002 年 6 月の出荷開始以来、ASTERIA の導入社数の推移は、以下の通りです。

2003 年 3 月末	2004 年 3 月末	2005 年 3 月末	2006 年 3 月末	2007 年 4 月末	2008 年 3 月末
20 社	78 社	150 社	251 社	362 社	462 社

2009 年 3 月末	2010 年 3 月末	2011 年 3 月末	2012 年 3 月末	2013 年 3 月末	2013 年 10 月末
660 社	1,335 社	2,124 社	2,990 社	3,593 社	4,029 社

インフォテリアは、今後も変化を続ける企業情報技術ニーズを先取りし、「つなぐエキスパート」として、企業活動の革新に貢献してまいります。

■インフォテリア株式会社について

1998 年に国内初の XML 専業ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。

主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 4,000 社以上（2013 年 10 月末現在）の企業に導入されています。

また、デジタル文書を、クラウド経由で iPhone/iPad/Android/Windows 8 などのスマートフォン、タブレットに配信するサービス「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料など、あらゆる業務文書をタブレットで持ち歩くツールのスタンダードとして多くの先進企業や公共機関で採用されています。

→ http://www.infoteria.com/

※ 本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

※1 企業データ連携：Enterprise Application Integration / Enterprise Service Bus

※2 テクノ・システム・リサーチ「2013 ソフトウェアマーケティング総覧　EAI/ESB 市場編」

■本リリースに関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社　広報担当：嶋　かおる

TEL:03-5718-1297　FAX:03-5718-1261

E-mail: press@infoteria.com

■ 本プレスリリースの掲載 URL

http://www.infoteria.com/jp/news/press/2013/11/11_01.php